



みんな輝け和泉っ子

和泉

10 月号

学校と地域・社会をつなぐ子どもたち

副校長 内田 宏



本校は、学区の半分が農地という横浜では大変珍しい学区です。にもかかわらず子どもたちのほとんどのご家庭が農業を生業としていません。けれども、学区に広がる農地や農業について調べていくと、そのポテンシャルの高さに驚かされます。そんな和泉の農業に注目しているのが5年生です。目の前に農地が広がっているものの一見自分たちの生活とはつながっていないように感じる和泉の農業。「和泉

の農業とはどんなものなのか?」「そこに、よさや問題点はあるのか?」を実際に和泉の農業を体感しながら考えていこうと5年生の子どもたちが学びを始めています。担任によると、子どもたちは和泉の農業をテーマに、考えるべき課題を整理し、この課題を解決すべく和泉の農業を体験できる場を求めたそうです。その追究は、授業時間の枠に留まらず、子どもたちは自ら考え判断し、放課後に和泉の農家さんを訪問し、自分たちの学習のねらいをしっかりと説明し、農地をお借りして本物の農業体験をさせてほしい旨を依頼したとのことです。翌日、この子どもたちは農家さんから内諾をいただいた農業体験ができる農地の場所と、農家さんの名前と電話番号を記したメモを持って、嬉しそうに担任に報告に来たとのことです。

(この5年生の学びに向かう姿が、JAの広報課の皆様や、いずみ野沿線のまち活性化プロジェクトを運営する横浜市建築局の皆様の学習支援に結びついていきました。)このような姿こそ、昨今の教育改革の中でうたわれている「生きる力」ではないかと考えます。追究していく課題は、子どもが自分で見つけていく。そして、子ども自身が自分の体験や活動を通して問題解決していきながら、自分なりの答えを求めていく。問題解決をしていくことで答えを求めながらも、むしろその過程で獲得していく学び方や、自分なりの考えをもてるようになることをねらった総合の時間。和泉小の総合の時間では、子どもが地域・社会の扉を開き、地域・社会から学びを広げたり深めたりする学習が展開されています。

3年生では、1組が地域の洋菓子店「ラ・フォンテーヌ」さんに学びながら、シェフの生き方や考え方に触れています。2組では、横浜のバラ「はまみらい」の栽培と地域社会への普及活動を通して、人と人がつながり、よりよい社会を形成していくことの大切さを学ぼうとしています。学習を通して横浜市長さんからの励ましのお便りもいただきました。(お便りは職員室前に拡大して掲示しています。)4年生では環境創造局発行の「みどりアップQ」にも掲載されたように、子ども自身が地域や行政に働きかけ、荒れて使われなくなっていた池を再生させました。池の再生を通して、自分たちが地域や行政に真剣に働きかけることで、社会が自分たちを支えてくれたり助けてくれたりすることを実感できたことと思います。6年生は地域の伝統文化を学ぶことを通して、和泉の伝統文化の担い手である師匠の思いや考えに触れることが出来たはず。また、先日の泉公会堂での6年生の伝統文化学習発表会には区長さんをはじめ地域の様々な方々がご覧になり、感動や感銘を受けて帰って行かれました。また、福祉施設の方々からは、なんとかして子どもたちの発表を施設の方々に見せることはできないものかと相談を受けています。6年生の発表に心を揺さぶられ、行動を起こす方がいるのです。まさに、地域社会に発信し、子どもの力が社会を動かしています。子どもたちの学びの広がりや学校と地域・社会とをつなげています。変化の激しい時代にあって、現実の社会の中で子ども自らが思考・判断し、他者と協働しながら問題解決していくことは、これからの時代を生きる子どもにとって、とても大切なものになってきます。学校が地域社会の中に温かく迎え入れられ、子どもが個性を發揮しながら学ぶことのできる和泉というまちの温かさと懐の広さに改めて感謝の念をもつ日々です。今後とも、本校の教育活動へのご支援ご協力の方、よろしく願いいたします。

学習の成果を発表しました

～6年 伝統文化学習発表会～

9月11日（火）、泉公会堂にて、6年生が伝統文化の発表会を開催しました。朝から化粧などの準備、リハーサルと大忙しのスケジュールでしたが、やる気に満ち溢れた表情で一人ひとりが真剣に取り組み、発表本番の準備をすすめました。

本番では、歌舞伎、日本舞踊、天王囃子、どの発表においても、子どもたちはこれまでに学んできたことを、自信をもって表現し、見ていただいた多くの方々からたくさんの拍手を頂くことができました。発表を終えた子どもたちの顔には達成感と充実感が感じられ、とても満足した様子でした。

今後は、これまで熱心なご指導を頂いた講師の先生方への感謝の気持ちをもちつつ、伝統文化に対する学びを深める活動を行っていく予定です。



新江ノ島水族館 ～1年生遠足～



9月13日（木）新江ノ島水族館へ遠足に行ってきました。秋風が心地よい中、お見送りの皆さんや校舎に向かって元気よく「行ってきます。」の挨拶をし、バスに乗って出発しました。バスの中では、生き物クイズで盛り上がりました。



水族館では、自分たちだけで館内を回るグループ見学に挑戦しました。生き物たちの可愛い様子を味わえるイルカショーも欠かせません。人間と生き物が心を通わせ見せる技に、大きな歓声を上げながら、夢中になって見学しました。

今回のめあては「ルールを守って行動し、みんなで仲良く見学し、楽しい遠足にしよう」でした。それぞれ心に残った生き物や出来事は様々でしたが、自分たちで考えて行動することも多く、また一つ成長を感じた1年生です。帰りのバスでも、元気な声がたくさん聞こえ、友達や先生と過ごした遠足は、最高の一日となりました。



他校の児童と交流を深めました ～4・5組 泉区合同宿泊体験学習～

9月20日(木)・21日(金)の1泊2日で、4・5組の友達が泉区合同で行われる上郷宿泊体験学習に参加しました。あいにくの雨でしたが、7名全員が宿泊体験学習への期待に胸を膨らませて、元気に出発しました。バスの中でも楽しく過ごし、最初の目的地よこはまこども科学館では、館内をグループで見学しました。見学のマナーを守り、見学することができました。友達と一緒に食べるお弁当の時間は、とても楽しそうでした。

上郷森の家では、おやつを食べて、映画鑑賞をしました。その後の夕食やバーベキュー(水着を着て入るお風呂)なども協力しながら楽しく活動することができました。



2日目も雨でしたが、室内の活動で盛り上がりました。なかよし集会では、他の学校の友達と歌を歌ったり、ゲームをしたりして一緒に活動を楽しみながら、交流を深めることができました。

帰ってきた子どもたちの顔からは、2日間みんなで仲良く頑張ったという充実感を感じることができました。

自分の役割をしっかりと果たすことができ、他校の子どもたち、そして、和泉小のみんなと協力して過ごした2日間は、子どもたちにとって大きな成長につながりました。これからも、行事を通して成長していけるよう支援していきます。



泰山園さんありがとうございました ～ニコニコ池完成～

9月25日(火)朝会の場で、「自然にいっぱいニコニコ池」工事終了式が行われました。工事期間は約2週間と短いものでしたが、安全に配慮したスロープや飛び石、芝桜やウッドチップが新たに加わったり、泰山園の皆様からモミジの木をプレゼントしてもらったりするなど、4年生を中心に子どもたちが考えてきた「生き物や自然がいっぱいで、池に

来

た人がニコニコ笑顔になるような池」に近づくことができました。今後は、みんな安全に楽しく池を活用できるようにするためのルール作りを全校で考えていきます。

皆様も学校にお寄りの際にはぜひ見いらしてください。

